

# 親切 ～席を譲る人の勇気～

3年4組15番 幸前 紗季

## 1. はじめに

このテーマをした動機は、グローバル探究の題材について調べていると、ひとつの記事に目が止まりました。その記事は2017年1月18日に、株式会社ダイヤモンド社という主に経済やビジネスなどの書籍や雑誌等を出版している日本の出版社が掲載しました。内容として、先日、筆者が電車に乗っていると、ある駅で高齢の男性が乗り込んできました。車内は混雑とまでいかないものの、吊り革につかまって立っている乗客がちらほら、といった感じでした。若い男性が高齢の男性に声をかけて席を譲りました。席を譲ったのですが、「次の駅で降りますので」と若い男性の申し出を断りました。若い男性や高齢の男性、誰も悪くないが、その車両内では、どことなく気まずい空気になってしまいました。また、他にも、席を譲ったら、自分がそんな年寄りに見えるのかと言って、怒鳴られたり、怒られたというニュースもありました。「お年寄りを敬うべきだ」というのはすごくいいことだと思いますが、実際には私たちが考えているより「お年寄り」の線引きは難しく、またお年寄り自身の主観によっても違ってくるため、敬う側が心理的な負担を強いられてしまう事態になります。では、親切とは何か？について疑問を持ちました。

## 2. 序論

私は「親切をする」とはどのようなことかを調べた。goo国語辞書によると、相手の身になって、その人のために何かをすること。思いやりをもって人のためにつくすこと。また、心の底から相手を思って行動すること。と書かれている。また、smartlog辞書では、人情が厚いことや、好意で人のために尽くすこと。とも書かれていました。どの辞書にも相手の立場に立って考え、行動することまでしか書かれていない。行動された人や周囲の人にとっては、親切だと感じるのだろうか。親切な行動をするとほとんどの場合、相手から喜ばれると考える。もし、相手にとってありがたい、親切だと感じなかった場合、それはお互いに親切と言えないのだろうか。

私はこれまで親切にしてくれた人の思いについて考えていなかった。小学校の道徳の授業でいじめや障害など多くのことを学んだ。その時に、電車で困っている人や高齢者の方、障害者の方が立っていたら積極的に席を譲ろうということを学んだ。その時から、私は、困っている人に席をゆずるのが当然のことだと思っていた。

そして、高校から電車通学になり、たくさんの人と触れ合う機会が増えて、席を譲る姿などの親切なところをよく見かけるようになった。そこで、私はそれは本当に親切なのかと疑問に思った。2人の会話や行動によるキャッチボールが成立して親切というのが成り立つと考える。そして、一方通行での親切は親切と呼べるのか、という問いを立てた。私は親切とは言えないと考える。私は電車の座席を譲られた経験はないが、いざその状況に陥った時、ありがたいと思うより恥ずかしいという気持ちの方が大きく残ってしまうと考えた。研究方法としては、まず身近な人が困っている人に席を譲ったことはあるのかを調査して自分の近くでの席譲りへの行動性を調べる。次に年代や性別別の6年前と9年前のアンケート結果

を比較して社会での席譲りへの行動性を調べる。アンケート調査に付け加えて、親切な行動に関する論文を読み、親切について考察する。

### 3. 本論

まず、高校の同じゼミである友人12人に、「優先座席を譲ったことがありますか」という質問をした。すると、約八割の人が座席を譲ったことがあると答えていた。後の約2割の人は、「自分の前に人が立っていて、ゆずることができなかった。」、「既に譲っている人がいた。」という意見があった。

また、乗換案内サービス「駅すばあと」を提供する株式会社ヴァル研究所が2016年に男女約3413人を対象に実施したアンケートと、2013年に959人を対象に実施した同様のアンケートを比較しながら、考えの変化について述べる。

1、「優先座席では席を譲るべきだと思いますか」という質問に対して、優先されるべき人がいた時には「優先するべき」と答えた人が75%いることがわかった。3年前の調査と比べると、17%減少しており、対して「どちらとも言えない」という人が9.5%増加している。年代別で比較すると「どちらとも言えない」と回答する50代がほかの年代に比べて多く、中でも男性が7割を占めました。

2、「優先座席以外でも席を譲るべきだと思いますか」という質問に対して、全体の約6割が譲るべきだと回答した。前回の調査と比べると、全体の譲るべきだと思う人が19%減っている。1の質問に続き、3年前と比べて席を譲る意識が低くなっていることがわかる。それに対して、譲るべきではないと答えた人が増えているのがわかる。

3、「あなたは座席を譲ろうとした相手に断られた経験がありますか」という質問に対して、全体の約6割の人が断られたことがあると回答していた。前回の調査と比べると、9%程度断られた経験がある方が増えている。

4、任意として「あなたが座席を譲った際に成功した譲り方とは何ですか」という質問については、回答者の性別や年代バラバラであり、「どうぞ」と言って無理やり席を立つ、次の駅で降りるのでと言ってすぐに席を立つ、譲られて当然な理由（電車が揺れていて危ないから、大きな荷物を持つてからなど）を伝えるといった方法で座席を譲ってる人がいる。

この4つアンケートの結果により、3年前の調査と比較すると「席を譲ろう」という意識が低下していることが明らかになった。席を譲ろうとして断られた経験も増加していることから、「断られるかも」という思いが頭をよぎってしまうのかと考えた。「本当は席を譲りたい気持ちが強いのに関わらず、相手から断られて傷つくのが怖いから声をかけない」という消極的な性格の人が多いのではないかと推測されます。この記事を読んでみて、譲られることに対して、親切だと感じる人もいたが、お節介だと感じる人もいることを知った。

そこで、私は、席を譲ることは、相手にとって本当に親切なのか、譲らない方がいいのではないかと、という問いを立てました。

私はこの問いに対して、親切ではないと仮説をたてました。この行為に優しさを感じない人もいるからです。

親切の定義について調べると、広島大学の近藤良樹さんや谷越大輔さんの論文を見つけました。論文によると、親切とは、自分が他人を手助けすることである。親切は義務ではなく、

お金を払う必要もない。相手に親切な心を持つことを親切心という。親切心を持つことはとても大切だと考える。しかし、相手が本当に困っているのか。私が助けるべきなのか。外見からの見極めもつかない。譲る方は、声をかけて断られた時の周りのシーンとした空気や後々になって出てくる自分がした行動の恥ずかしさによって、譲ろうとする行動を邪魔する。それによって、譲らないでおこうという考えになる。

一方、譲られる方としては、親切にされたらありがたいと思う人がほとんどである。しかし、お節介だと思える人も中にはいると考える。余計なお世話とされる親切は親切ではない。特に日本人は、心の中には自分の気持ちが正確に伝わってほしいという思いがあるが、周りの目を気にして、感情を表に出さないことが沢山ある。しかし、譲られる方の気持ちがわかったからといって、その方がたくさんの親切を求めているとは限らない。行動を受けた方からすると、親切からお節介となってしまう。譲った側も譲られた側も感じ方がそれぞれ違うため、このようなことが問題になるのだと思う。そこで、それぞれ感じ方が違うからといって社会全体で見た時、親切を躊躇する社会でいいのか？という問いが生まれた。私は躊躇すべきではないと考える。親切がなくなってしまうと、人との交流も減り、みんな平等に使えるものが平等に使えなくなってしまうと思う。親切はあらゆるところで自然に行われているものだと思う。相手のために遠慮したり、配慮したり、譲ったりという行動です。躊躇して減らすより環境が増えた方が社会が豊かになると考える。

4. 結論 1番最初の問いであったように、片方がする親切は親切とは呼べないと思う。理由は、譲った側と譲られた側の両方が最後に心地よく終わることが大事だからである。躊躇なく親切な行動が増える社会になるにはどのようにしたらいいだろうか。このような社会を実現するには、私は譲る人と譲られる人とのコミュニケーションがうまく成立することが必要だと考える。コミュニケーションが大きな課題だと思う。日本人は内気で恥ずかしがり屋な人が多いため、相手に話すことを躊躇しやすく、必要最低限のことしか他人に伝えないことが多いと思う。そのため、親切にする相手が自分と同じように親切を親切として理解できているかと言われると決めつけることはできない。思い込んでしまっただけではないかと思う。万が一、伝わってなかった場合、相手に失礼なことを言われたと勘違いされてしまうかもしれないからである。

そこで、もし、席を譲った時に、「自分の親切心が相手に伝わっていないことに気づかず、断られた場合と自分の親切心が相手に伝わって優しく断られた場合では、次の機会に、別の人困っていたとしたら、どちらの場合、席を譲ろうと思いますか」という、質問を同じゼミ内の人に質問した。その結果、前者の意見の方が席を譲ろうと思う人が多かった。席を譲って断られても、相手からの断られ方によってその次の行動も変わってくると思う。他人に理解してもらっているか確認しながら伝えることが大切である。

しかし、困っている人がいるからといって、赤の他人とコミュニケーションをとることは難しい、恥ずかしいと思う人が多いと思う。そこで、最後の問いが生まれた。「困ってそうな人を見つけた時、あなたは席を譲りたい人にどう話したら伝わりとおもいますか」という問いである。

私は、携帯のメモを使うことをおすすめする。今、ほとんどの人が携帯を持っている。メモに文章を打って、相手に見せることで簡単に気持ちを伝えることができると思う。伝えるまで時間がかかったり、改善しないといけない点も沢山ある。この解決策が正解か不正解かわからないが、これからこの問いについてももう少し探究していきたいと考える。

この探究によって、親切についてよく考えることができた。

## 5. おわりに

これまで親切についてこんなに考えたことがありませんでした。親切はいいイメージで誰もが喜んでくれるような行動であると思っていました。しかし、探究していくうちにアンケートで親切な行動に対する多くの人の気持ちを知り、驚きました。最初、問いが大きすぎたので、研究方法を探すことに苦勞をしました。親切は生きていく上で必要なことではないが、ニュースで問題にあげられたため、その原因である双方の気持ちの違いをしっかりと理解し合えることが必要だと気がつきました。この探求で得た学びから、「価値観の違いなどで起こる問題に着目して、現状を知り、解決策を目指し、自ら行動する」ことを学びました。この力を使って、他にも社会問題にも活用していきたいです。

## 6. 参考文献・出典

- ・ 親切の意味          goo国語辞書 提供  
<https://dictionary.goo.ne.jp/word/親切/>
- ・ 「“親切”な意味とは？ 親切な人の特徴／思いやりがある性格になる方法を解説」 smartlog提供          (2022年3月掲載)  
<https://smartlog.jp/150846>
- ・ 乗換案内サービス「駅すばあと」(2016年9月実施)  
調査No. 02 ゆずりあい精神の意識調査          駅すばあと for Web  
<https://roote.ekispert.net/ja/labo/investigation/result/2016/02>
- ・ 乗換案内サービス「駅すばあと」(2013年5月実施)  
調査No. 02 ゆずりあい精神の意識調査          駅すばあと for Web  
<https://roote.ekispert.net/ja/labo/investigation/result/2013/02>
- ・ 「電車で高齢者に席を譲る」という人が減っているワケ (2017年1月18日掲載)  
宮崎智之          ダイヤモンドオンライン掲載  
<https://diamond.jp/articles/-/114547>
- ・ 「電車内の座席譲り合い行動に関する研究」(第1章 研究の背景と目的) 谷越大輔  
令和2年度 小樽商科大学学術研究奨励事業 第15回「学生論文賞」優秀賞受賞  
[https://www.otaru-uc.ac.jp/wp-content/uploads/2021/03/R02\\_yuusuu2.pdf](https://www.otaru-uc.ac.jp/wp-content/uploads/2021/03/R02_yuusuu2.pdf)
- ・ 「親切(論文集)」 近藤良樹          2007年出版          広島大学  
(第一章 我々の親切は、誰にするのか-日本的な親切の人間関係論  
第二章 親切な人とは、どんな他人か-人間関係としての親切論  
第四章 親切の本質-たまたまにする、ささやかな手助け)          [https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/2/20347/20141016135021662263/shinsetsu\\_kondo\\_yoshiki.pdf](https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/2/20347/20141016135021662263/shinsetsu_kondo_yoshiki.pdf)
- ・ 「我々の親切は、誰にするのか-日本的な親切の人間関係論」 近藤良樹  
2004年出版          [https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/1/14123/20141016120633501092/metaphysica\\_35betsu\\_33-40\\_2004.pdf](https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/1/14123/20141016120633501092/metaphysica_35betsu_33-40_2004.pdf)

